

## 5 キャッシュ・フロー計算書について

本市下水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

	平成30年度	平成29年度	増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	279,249	352,035	△ 72,786
減価償却費	3,481,239	3,401,669	79,570
退職給付引当金の増減額(△は減少)	28,745	13,059	15,686
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 16	85	△ 101
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 795	△ 2,218	1,423
長期前受金戻入額	△ 1,366,258	△ 1,354,788	△ 11,470
受取利息及び配当金	△ 5	△ 7	2
支払利息及び企業債取扱諸費	940,921	995,341	△ 54,420
固定資産除却損	48,418	23,931	24,487
固定資産売却損益(△は益)	0	14	△ 14
未収金の増減額(△は増加)	90,559	△ 21,470	112,029
未払金の増減額(△は減少)	162,159	118,435	43,724
預り金の増減額(△は減少)	△ 11,390	20,291	△ 31,681
小 計	3,652,826	3,546,377	106,449
利息及び配当金の受取額	6	7	△ 1
支払利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 953,047	△ 892,603	△ 60,444
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,699,785	2,653,781	46,004
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 6,603,260	△ 5,998,576	△ 604,684
有形固定資産の売却による収入	0	22	△ 22
国庫補助金等による収入	1,986,622	2,200,887	△ 214,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,616,638	△ 3,797,667	△ 818,971
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
一時借入れによる収入	1,600,000	-	-
一時借入金の返済による支出	△ 1,600,000	-	-
建設改良費等の財源に充てるための 企業債による収入	691,000	1,575,000	△ 884,000
その他の企業債による収入	498,300	523,000	△ 24,700
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 3,110,742	△ 2,680,165	△ 430,577
その他の企業債の償還による支出	△ 441,494	△ 276,866	△ 164,628
企業債前借による収入	4,074,800	2,937,400	1,137,400
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金による収入	0	500,000	△ 500,000
他会計からの繰入による収入	419,014	417,594	1,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,130,878	2,995,963	△ 865,085
資金増加額 (又は減少額)	214,025	1,852,077	△ 1,638,052
資金期首残高	2,475,293	623,216	1,852,077
資金期末残高	2,689,318	2,475,293	214,025

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュフロー(CF)で表される。

本年度の資金は前年度より約 2 億 1,400 万円増加している。

投資活動(固定資産の取得等)のための資金が本来の業務活動による資金に対して不足するので、財務活動(企業債借入等)による資金で調達している形となっている。